



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
コード番号 6678 URL <https://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,772	12.1	446	33.3	454	32.7	309	34.0
2022年3月期第2四半期	4,291	15.9	669	65.5	676	64.0	468	66.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	36.71	
2022年3月期第2四半期	54.96	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,840	15,472	86.7
2022年3月期	18,508	15,650	84.6

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 15,472百万円 2022年3月期 15,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				55.00	55.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.1	1,500	19.4	1,500	19.0	1,050	18.1	123.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,760,000 株	2022年3月期	8,760,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	330,201 株	2022年3月期	339,751 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,422,749 株	2022年3月期2Q	8,520,155 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）による社会経済活動への制限緩和が継続し、緩やかながら景気にも持ち直しの動きが見られました。

他方、いわゆる「第7波」による急激な感染再拡大や、エネルギー需給ひっ迫への懸念、原材料の供給不足や価格高騰などの不安材料も多く、先行きの不透明な状況が続きました。

医療業界においては、新型コロナの感染再拡大により、医療提供体制の維持をめぐる懸念が再燃する中で、安定した医療提供体制の確立に向けた課題解決への取り組みが求められております。

このような経営環境の中で当社は、医療施設の安定的な運用や効率化に寄与する採血管準備装置および関連システムについて、提供可能なソリューションの幅を広げながら販売活動に注力するとともに、検体検査装置の導入提案、消耗品の安定供給についても、引き続き努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,772,380千円(前年同期比12.1%減少)となりました。採血管準備装置および関連システムの販売案件数の減少、および消耗品である国内採血管供給事業を終了したこと等により、前年同期比の売上を下回りました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比0.7ポイント減少し12.6%となりました。

利益面に関しては、売上高の減少に伴い売上総利益が1,875,203千円(前年同期比11.3%減少)となりました。販売費及び一般管理費は1,428,696千円(前年同期比1.0%減少)となり、この結果、営業利益は446,506千円(前年同期比33.3%減少)、経常利益は454,927千円(前年同期比32.7%減少)、四半期純利益は309,226千円(前年同期比34.0%減少)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置・システム

当第2四半期累計期間における採血管準備装置・システムの売上高は1,037,828千円(前年同期比30.0%減少)となりました。国内市場における売上高は、前年同期に比べて中・小型案件は増加したものの、大型案件が減少したことにより948,351千円(前年同期比25.6%減少)となりました。海外市場における売上高は、全域的に新型コロナによる影響からの回復が遅れている中、競合他社との競争も激化する厳しい市場環境にあって89,476千円(前年同期比56.9%減少)となりました。

・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は241,794千円(前年同期比6.0%減少)となりました。国内市場における売上高は、ハンディ型の血液ガス分析装置がモデルチェンジの端境期にあることや、電解質分析装置の販売が伸び悩んだこと等により142,859千円(前年同期比12.1%減少)、海外市場における売上高は、デスクトップ型の血液ガス分析装置の販売が持ち直し、98,935千円(前年同期比4.4%増加)となりました。

・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,492,756千円(前年同期比2.3%減少)となりました。2022年4月をもって、消耗品である採血管の供給事業を終了したこと等により、国内市場における売上高は2,207,123千円(前年同期比3.3%減少)となりました。一方、海外市場での売上高は、稼働装置数の増加等により、285,632千円(前年同期比6.3%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は17,840,994千円となり、前事業年度末比667,250千円減少しました。これは主に、商品及び製品が329,613千円増加、現金及び預金が341,723千円増加した一方、売掛金が1,306,819千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は2,368,771千円となり、前事業年度末比489,388千円減少しました。これは主に、前受金が203,074千円増加した一方、買掛金が285,137千円減少、未払法人税等が208,504千円減少、未払消費税等が148,050千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は15,472,223千円となり、前事業年度末比177,862千円減少しました。これは、配当金の支払いが505,214千円、四半期純利益が309,226千円であったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は86.7%となり、前事業年度末比2.1ポイント増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、11,865,231千円(前年同期比795,879千円増加)となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期累計期間において、営業活動により得られた資金は915,243千円(前年同期比506,630千円減少)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額が402,541千円であった一方、売上債権の減少額が1,454,643千円であったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、投資活動により支出した資金は68,773千円(前年同期は2,511,318千円の収入)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が63,788千円、差入保証金の差入による支出が7,813千円であった一方、差入保証金の返還による収入8,386千円があったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、財務活動により支出した資金は504,746千円(前年同期比70,877千円増加)となりました。これは、配当金の支払額504,746千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日付の2022年3月期決算短信で発表した2023年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,523,507	11,865,231
受取手形	30,587	24,082
電子記録債権	533,349	392,030
売掛金	3,088,090	1,781,270
商品及び製品	909,427	1,239,041
仕掛品	191,018	246,018
原材料及び貯蔵品	128,854	146,781
前払費用	36,791	50,157
未収消費税等	-	49,607
その他	31,124	4,841
流動資産合計	16,472,750	15,799,063
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,199,326	1,255,060
減価償却累計額	△674,876	△694,846
建物(純額)	524,450	560,214
構築物	2,577	5,042
減価償却累計額	△2,386	△2,421
構築物(純額)	191	2,620
機械及び装置	350,019	339,869
減価償却累計額	△228,589	△231,492
機械及び装置(純額)	121,429	108,376
工具、器具及び備品	292,694	308,319
減価償却累計額	△233,612	△249,082
工具、器具及び備品(純額)	59,081	59,237
土地	787,326	787,326
建設仮勘定	-	412
有形固定資産合計	1,492,479	1,518,187
無形固定資産		
電話加入権	1,177	1,177
特許権	1,099	983
ソフトウェア	30,739	25,636
無形固定資産合計	33,017	27,798
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期前払費用	49,100	37,548
繰延税金資産	363,419	362,293
その他	115,682	114,157
貸倒引当金	△25,714	△25,564
投資その他の資産合計	509,998	495,944
固定資産合計	2,035,494	2,041,930
資産合計	18,508,245	17,840,994

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,282,543	997,406
未払金	146,856	88,618
未払費用	81,284	83,350
未払法人税等	370,527	162,022
未払消費税等	148,050	-
前受金	296,351	499,426
預り金	9,496	9,503
前受収益	114,530	128,896
賞与引当金	157,533	161,632
役員賞与引当金	21,375	-
その他	1,657	2,125
流動負債合計	2,630,205	2,132,981
固定負債		
退職給付引当金	192,291	200,134
製品保証引当金	63	57
その他	35,598	35,598
固定負債合計	227,954	235,790
負債合計	2,858,160	2,368,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	14,260,952	14,061,435
自己株式	△648,593	△626,938
株主資本合計	15,650,085	15,472,223
純資産合計	15,650,085	15,472,223
負債純資産合計	18,508,245	17,840,994

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,291,044	3,772,380
売上原価	2,177,587	1,897,176
売上総利益	2,113,456	1,875,203
販売費及び一般管理費	1,443,736	1,428,696
営業利益	669,719	446,506
営業外収益		
受取利息	1,116	74
受取配当金	0	0
為替差益	667	4,704
受取賃貸料	3,289	3,363
受取補償金	333	-
その他	1,205	693
営業外収益合計	6,613	8,837
営業外費用		
その他	80	416
営業外費用合計	80	416
経常利益	676,252	454,927
特別損失		
固定資産除却損	-	2,410
特別損失合計	-	2,410
税引前四半期純利益	676,252	452,516
法人税、住民税及び事業税	218,290	142,163
法人税等調整額	△10,331	1,126
法人税等合計	207,959	143,289
四半期純利益	468,293	309,226

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	676,252	452,516
減価償却費	58,938	51,335
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,460	7,842
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,528	4,098
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△24	△6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,000	△21,375
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△150
受取利息及び受取配当金	△1,117	△74
有形固定資産除却損	-	2,410
売上債権の増減額 (△は増加)	1,096,781	1,454,643
棚卸資産の増減額 (△は増加)	387,311	△402,541
仕入債務の増減額 (△は減少)	△478,767	△285,137
その他の資産の増減額 (△は増加)	12,117	△6,061
その他の負債の増減額 (△は減少)	33,371	672
小計	1,789,853	1,258,174
利息及び配当金の受取額	1,117	74
法人税等の支払額	△369,096	△343,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,421,874	915,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,568,592	-
有形固定資産の取得による支出	△53,096	△63,788
無形固定資産の取得による支出	△5,012	△5,557
差入保証金の差入による支出	△1,661	△7,813
差入保証金の回収による収入	2,495	8,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,511,318	△68,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△433,869	△504,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△433,869	△504,746
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,499,323	341,723
現金及び現金同等物の期首残高	7,570,028	11,523,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,069,351	11,865,231

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。